



岸 利治

カタログを超えてユーザーレビュー／ランキングシステム活用への途は啓けるか

建設分野におけるユーザーレビューシステム研究懇談会 RC-80

1. 代表幹事

岸 利治（東京大学 生産技術研究所 教授）

幹事

中村秀明（山口大学大学院 理工学研究科 教授）

岩城一郎（日本大学 工学部 教授）

連絡先

岸 利治

Tel : 03-5452-6394

Fax : 03-5452-6395

e-mail : kishi@iis.u-tokyo.ac.jp

2. 主旨

インフラの維持管理には、米国に続いて日本も多大な授業料を払ってきた。苦く貴重な経験であり、教訓を財産として今後の維持管理に活かさなければならない。日本全国にコンクリート構造物は無数にあり、維持管理の裾野は広い。その末端にまで合理的な維持管理を展開するには、時間をかけて蓄積された情報の一層の知識化と共有化に加えて、情報を有効に活用する方策の導入が必要ではなからうか。

データベースは情報の蓄積と共有に有効なツールであるが、入力の手間が掛かる割に情報を有効に活用するのが難しい。カタログは様々な技術を横並びに眺めるには便利であるが、どの材料／工法が、よりニーズに適しているのかまでは教えてくれない。貴重な情報は目に付きやすく、取り出しやすく、有効に活かさなければならない。昨今、ランキングばやりであるが、電化製品や宿泊施設の選定において、ユーザーレビューとランキングは消費者の貴重な情報源となっている。信頼に値する評価情報が簡単に入手できるという点で魅力は大きい。建設分野における技術評価に同様のシステムが馴染むのか、有益であるのかは定かでないが、その効用の大きさからして、食わず嫌いではもったいない。

建設分野において、パンフレットやカタログ、既存のデータベースの枠を超えて、ユーザーレビュー／ランキングシステムの活用への途は啓けるのか、構造物の延命化技術を対象として議論する。

3. その他

参加費：賛助員の場合（賛助会費1口10万円）：参加費10万円

非賛助員の場合：参加費20万円

定員：特に規定しない。

運営方法：年2回程度、RC-73と合同で、講演並びに情報交換・意見交換を行う。



アルカリ骨材反応による劣化事例



表面被覆対策後の再劣化事例